

川でむすぶ



<事業報告>

- ①令和3年度総会の報告と今後の課題
- ②第15回夏井川流域一斉水質調査
- ③小学校環境学習支援
- ④魚類の採捕について
- ⑤定例清掃活動

<行事案内>

- ①第17回福島県水環境活動団体交流会
- ②第3回夏井川ウオーキング

<報告・募集案内>

- ①夏井川流域治水協議会の発足について
- ②20年史の記事・資料・写真

<事業報告> ①令和3年度(第22回)総会の報告と今後の課題

橋本孝一

猛威を振るうコロナ禍が収まらない中、本年度の総会も、昨年度に引き続き「書面決裁」での総会となってしまいました。本来なら、直接、より多くの会員の皆様のご参加を頂き、会のこれまでの事業内容についてのご意見や今後の活動に向けてのご提案を頂きたいと思っておりましたが、止むなく、去る6月8日(火)の世話人会において、議案書(案)を作成し、会員の皆様に同(案)を送付させていただき、ご意見を頂きました。特に、ご異論もなかったことから、6月30日を以て決裁扱いとさせていただきましたことをご報告申し上げます。

◆昨年度を振り返ってみますと、独自の継続的な事業としての草刈(新川アリオス前、河口親水空間、防災センター)、一斉水質調査、夏井川沿いウオーキング、小学校等での水環境学習支援等の他、県内水環境活動団体交流会等、規模を縮小しつつも実施することができました。「川下り」は、残念ながら「密」が懸念されるため中止としました。

◆令和3年度に入ってから、コロナウイルスによる感染は衰退する気配もなく、現時点においては、コロナ患者の増加に対応するため、いわき市は、「蔓延防止等重点措置」の対象地域となり、会議会場の確保も困難になっている状況です。そのような中ですが、これまでに、①一斉水質調査、②小学校学習支援、③草刈等については、規模を縮小し実施してきました。他方、一般

参加型の事業（パルシステム主催の「水辺の観察会」、県主催の「水辺の教室」、「川下り」）等は、中止とせざるをえませんでした。

福島県水環境団体交流会も、6月実施の予定でしたが、10月に延期しております。

◆さて、当会は、昨年度で「20周年」を迎えました。これまで、私たちは、「夏井川流域住民主体」の川づくりを目指して、私たち自身が、直接川に触れ川の声に耳を傾ける活動（例えば、一斉水質調査、川下り、ウォーキング・サイクリング等）や次世代に川の魅力を伝える活動（小学校等を対象とした「水環境学習支援」や「水辺の教室」等）、親水空間の保全・活用を促進するための清掃事業等、主に、「河川環境の保全」に力点を置いた事業を中心に活動の軸足をおいた活動を展開してきました。このような中、2019年10月の東日本台風に伴う豪雨により、夏井川流域では甚大な被害を受けました。ここ数年、国内では、多くの地域で、未曾有の水害・土砂災害に見舞われ、「地球温暖化」の影響を受け、今後は、更に“異常気象”の頻度が高まると予想されております。このような状況に対し、当会の活動の軸足を、“治水”（夏井川流域の治水安全性の確保のために私たちに何ができるか）にも移し、活動内容を充実させていく必要があるものと思っております。

◆会では、「20周年記念事業」として「20周年記念誌」の発行を企画し、既に、会員の皆様からは、多数、御寄稿を戴いております。コロナ禍の中、編集作業も遅れがちですが、鋭意、編集作業を進めており、今年度内には、「20周年記念誌」を発行するべく作業を進めております。

◆コロナ禍の中、皆様と直接意見交換の場も限られておりますが、会の進め方、取り組むべき事業等について、メール・お電話等、何らかの方法で、世話人会のメンバーにお声かけ下さいますようお願い致します。今後とも、ご支援等頂ければ幸いです。

<事業報告>②第15回夏井川流域一斉水質調査

阿部孝男

夏井川流域の会主催の「夏井川流域一斉水質調査」は今年で15回目を迎えましたが、昨年同様コロナ化渦が収束しないの中での開催は、一般参加の募集は行わず会のスタッフだけで6月6日（日）に実施しました。他、元勿来工業高校教諭の吉田先生と元同僚の教師と卒業生の皆さんも参加して頂きました。

調査地点も調査参加人数の制限もあることから本川7地点、支川5地点の計12地点に絞って行いました。

また、昨年に行わなかった水生生物調査は、水生生物に詳しいフォレストパークあだたらの大平さんが参加して頂いたこともあって公民館前の河原で実施しました。



採水した水は小川公民館でパックテストなどの検査を行い、記録表に書き込んでいきました。
小川公民館での計測—「COD(パックテスト)」「導電率」「におい」「透視度」

COD、BOD、pH、導電率は福島高専さんの協力を頂き公定法により計測しました。
川砂の放射性物質はパルシステム福島さんの協力により計測して頂きました。



パックテストなどの様子



透視度計測の様子



水生生物調査の様子

調査結果は、以下結果表に示すとおりですが、傾向としてはやはり例年通り小野町周辺の若干水質悪化～夏井川渓谷での良好な状態～下流域での水質悪化傾向がみられました。

川砂の放射性物質については過年度と比較すると横ばいの状態が続いている傾向が見られます。

令和3年度 夏井川流域一斉水質調査 結果表

実施日:令和3年6月6日(日)、午前10時 採水 天候:晴れ		実施主体:夏井川流域の会												
NO.	河川名	採水地点	現地計測結果		現地一斉試験結果:小川公民館				室内試験(福島高専での測定結果)					
			水温 ℃	流速 m/秒	CODバクテクト (3回平均値) mg/L	濁電率 mS/cm(*)	におい どんなにおい?	透明度 cm	pH 「」が中性	濁電率 mS/cm(*)	SS mg/L	COD mg/L	BOD mg/L	川砂の放射性濃度 (OS134+OS137) ベクレル(Bq/Kg)
1	夏井川(本川)	神保+滝根中前	15.0	0.3	1.0	10.15	なし	100cm以上	7.18	151	1.4	1.5	2.7	24.6
2	梵天川	夏井川合流前												-
3	夏井川	梵天川合流後												-
4	右支夏井川	飯豊												-
5	右支夏井川	小野町役場裏	17.0	0.6	2.0	13.02	川のにおい	73cm	7.07	196	6.0	2.7	1.6	36.3
6	夏井川(本川)	夏井1小前	17.0	0.6	1.0	15.03	うすい川のにおい	77cm	7.30	222	10.2	2.8	1.2	26.6
7	夏井川	五味沢												-
8	夏井川	三坂川合流前												-
9	夏井川	三坂川合流後												-
10	夏井川(本川)	鹿又川合流前	16.5	0.4	8以上	10.86	なし	100cm以上	6.64	166	8.8	9.2	4.5	25.2
11	鹿又川	夏井川合流前												-
12	夏井川	加路川合流前												-
13	加路川	夏井川合流前												-
14	夏井川(本川)	小川公民館前	19.0	2.3	3.7	9.85	なし	85cm	7.29	147	4.6	1.9	0.8	27.5
15	小玉川	夏井川合流前	19.5	0.7	2.7	13.07	なし	78cm	7.36	182	5.8	1.6	1.4	38.1
16	夏井川	久太夫橋												-
17	茨原川	船仏(ツ)橋	17.3	0.4	4.0	23.60	なし	73cm	7.15	355	10.2	3.9	0.8	46.8
18	夏井川(本川)	愛谷堰下	17.2	0.6	2.0	11.44	なし	33.5cm	7.35	182	20.0	3.4	0.2	29.2
19	夏井川	磐城橋												-
20	好間川	松坂つり橋												-
21	好間川	北目	17.3	0.4	1.0	18.88	なし	100cm以上	7.34	281	4.0	1.6	0.8	39.1
22	夏井川(本川)	鎌田	18.5	0.8	2.0	12.71	なし	47.5cm	7.36	196	12.0	2.8	0.8	28.0
23	新川	阿弥陀堂前												-
24	新川	いわき総合高校前												-
25	新川	吉川橋	18.0	0.6	5.0	44.20	ドブ臭	39cm	7.20	682	11.5	2.8	0.6	339
26	夏井川	六十枚橋												-
27	夏井川(本川)	河口	19.0	0.0	5.0	20.40	魚臭い	38cm	7.19	337	19.8	3.4	0.6	17.1
(*) 濁電率の単位: $\mu\text{S/cm}$ (マイクロシーメンス パー センチメートル)									**COD値はバックテスト3回の平均値					
									7.20	268	9.5	3.1	1.3	56.5

水質調査結果については「身近な水環境の全国一斉調査 (みずとみどり研究会) <http://www.japan-mizumap.org/>」に報告済です。

※全国の集計は12月ごろになるようです。

参加者のみなさん、スタッフのみなさんお疲れ様でした。

分析にご協力いただきました福島高専さん、パルスシステム福島さん大変お世話になりました。

子供たちの笑顔が見える夏井川、子供たちの歓声が聞こえる夏井川を目指して今後も継続していきたいと思いますので来年もよろしくお祈りします。



<事業報告> ③小学校環境学習支援

橋本孝一

新年度以降、三和小学校、好間第四小学校からの要請に応じて、水環境学習の支援をしました。

◆三和小学校

三和公民館主催事業（「せせらぎスクール」として実施）で、6年生14名を対象に、3回に亘って支援活動をおこないました。

○第一回目（5月31日）：好間川水源視察 ～ 予め座学（①水源と森林の関わり（いわき市森林組合）、②「好間川の水環境」（夏井川流域NW）の後、バスにて水源の一つでもある雨降山に登りました。途中、地元の加藤公昭さん（元市萱区長）から森林の維持管理や植林等の説明を受けながら約40分登った所で、斜面からの湧き水の様子を観察しました。窪みのある地表面を少し掘ってみただけで、水が湧いてくるのを見て、歓声を挙げていました。帰路、溪流に棲む生きもの調査にも挑戦。サワガニやサンショウウオが生息している様子を確認し、無事、帰路につきました。



水が湧いてきた（雨降山）



サンショウウオもいました

○第二回目（6月7日）：好間川でのフィールド学習 ～ 今年度、新築校舎となり、校舎は、好間川左岸から右岸側に移転しました。2年前の水害の復旧工事が続く中でしたが、校舎裏の川原は、砂州のある比較的穏やかな流れとなっており、安全性の面からも生き物調査には、適した場所が確保できました。



好間川での生き物調査に挑戦

カゲロウやカワゲラ等、「きれいな水に棲む生きもの（水質階級Ⅰ）」が多くいることを確認後、川にそっと戻してやりました。川での学習の後、教室に戻り、好間川の上下流の水質の変化を調べ、結果をリーダーチャートに表し、違いの原因について考えました。



好間川の水質分析

○第三回目（7月9日）：好間川・夏井川下流域の視察 ～ バスにて学校を出発。まずは、好間川が夏井川本川に合流している平橋から流れの様子を観察（川の様子は、河川工事が進み、昨年度とかなり違っていましたが）。さらにバスは、夏井川河口へ。河口左岸の堤防から上流の景観や横川の水門工事の様子を観察。更に右岸親水公園で、カニ釣り等をして帰校しました。



※事後、主催者の三和公民館で事後アンケートを実施しました。

その結果の概要は、下記の通りでした。

【アンケート回答者数13】

【設問1】せせらぎスクールに参加してどのように感じましたか。→「とても楽しかった」（全員）

【設問2】学習内容で、一番印象に残ったことは？

○雨降山でサンショウウオやサワガニ等をさがしたこと。湧き水の様子（7）。

○川のいきもの調べ（7）。 ○水質調べ（2）。 ○カニ釣り（4）。

【設問3】今回学習した他に学習してみたいことはありますか。

①全国で好間川は、どのような川に分類されるのか。 ②川にはどのくらいの生物が住んでいるのか（2）。生き物の生態を調べてみたい ③上流から下流までの間で、川の水の色

がどれだけ変化があるのか調べてみたい。川の流れの違い(2)。④いろいろな川に行き、どのような生き物がいるか調べてみたい(4)。⑤今の川のデータから見た未来の好間川。⑦山などでは、どうして流れが激しいのか学習してみたい。川の流れのちがひ。

◆好間第四小学校

当初予定していた「好間川での生き物調査」は、天候の関係で中止となりました。実質的に第1回目の講座は、学校から水源地～合流点～河口までのバス視察(7月8日)でした。今後、好間川での生き物調査・川遊びや水質調査等が実施される予定です。一段落しましたら、詳細は、次号の会報で報告します

<事業報告>④魚類の採捕について

田中博文

◆6月7日(月)三和小支援2回目の水生生物調査時の新聞記事内容に関連して、県水産事務所(いわき合同庁舎内)より事務局へ魚類の採捕について注意喚起の電話がありました。

- ・「網を使って魚を採捕」は法令(福島県内水面漁業調整規則)違反
- ・漁業調整規則の届けを提出し許可を得れば採捕可能
→児童含む全員の名簿を提出、許可に1ヵ月、毎回提出
- ・漁協の方が採捕して観察することはOK
- ・夏井川漁協より事務局へ腕章を1つ貸与されているが、規則上は効力ない

◆この指摘に対し、世話人会で議論したところ下記の意見がありました。

- ・採捕は水生昆虫であり、魚類はたまたま網に入ったものであり、観察後直ちに放流することでも違反なのか
- ・児童への環境教育学習(授業)として実施しているのに、厳密な規則を唱えられても困る
- ・許可が必要ならば、当会ではなく(当会は指導者として補助)、学校等主催者が行うべき
- ・水生生物調査で使用している一般的な「たも網」は、規則で定義されている投網、四ツ手網、刺し網、長袋網、地引き網等のどの部分に該当しているか

◆これら疑問点について、いわき市環境企画課より福島県環境創造センター企画課へ問合せしていただき、下記回答が届いております。

- ・標題のお問合せの件、県庁水産課及びいわき水産事務所に御確認したところ、たも網の使用については、県漁業調整規則に関して違反条項はありませんでした。
- ・また、ドジョウや水生昆虫を採集することについては、漁業権に抵触しないため、特に申請等は必要ございません。
- ・ただ、水生昆虫以外に魚類を採捕する場合は、申請(いわき水産事務所に提出)が必要になりますのでご注意ください。
- ・水産事務所のご指摘の趣旨としましては、新聞に「ヤマメ、ウグイなどの魚やカゲロウ、ヒルなどを捕まえた。」と記載されていたため、魚種によっては、県漁業調整規則の定めで、禁漁期や採捕してはいけない大きさ、禁止区域などの定めがあることから、ご指摘をされたようです。

将来の漁業権管理の人材育成の面でも、「水生生物調査」を実施する側が、しっかりと認識した上で実施してほしいとのことでした。

【参考】 ●ヤマメ：(期 間) 10/1から3/31まで採捕禁止期間

(サイズ) 全長15センチ以下は採捕禁止

(その他) 卵の採捕禁止

●ウグイ：(サイズ) 全長6センチ以下は採捕禁止

また、「せせらぎスクール」を実施する際、念のため活動の内容を漁業協同組合に、事前に御連絡しておく和良好的なことです。

◆この件について、福島県内や全国での活動上での課題等について交流会で議論したいと考えております。ご意見等あれば事務局へお知らせ下さい。

<事業報告>⑤定例清掃活動

田中博文

基本的に毎月第一土曜日を定例清掃日として朝7時30分から1時間半程度の清掃活動を実施していますが、夏井川河口右岸親水公園と新川アリオス裏ひょうたん島が河川工事開始となったため、堤防沿いゴミ拾いなどに変更し、何とか工夫して実施しています。

会報前号(今年1/1)以降の活動実績は次のとおりです。

月日	場所	内容	参加者数
○1/16(土)	夏井川河口右岸親水公園	階段土砂撤去	10名
○2/6(土)	夏井川河口右岸親水公園	階段土砂撤去	10名
○3/6(土)	夏井川河口右岸親水公園	階段土砂撤去	10名
○4/3(土)	夏井川河口右岸親水公園	駐車場・河川敷のゴミ拾い	10名
○5/1(土)	夏井川河口両岸公園～六十枚橋	両岸堤防道路のゴミ拾い	9名
○6/5(土)	夏井川河川防災ステーション	草刈り・ゴミ拾い	8名
○7/3(土)	夏井川河口右岸親水公園	草刈り・ゴミ拾い	8名

8月の定例清掃は猛暑(というより酷暑)といわき市コロナ感染者急増を考慮し中止としましたが、9月から再開したいと思います。

【9月定例清掃：9/4(土)夏井川河川防災ステーションの予定、雨天中止】



親水公園階段土砂撤去



磐城舞子橋下のゴミ拾い



堤防道路のゴミ拾い

<行事案内>①第17回福島県水環境活動団体交流会

令和3年度福島県水環境活動団体交流会「いわき」は、コロナ禍を考慮して6月から10月へ延期といたしました。内容は1日目午後から講演・各団体発表と懇親会、2日目午前から現地視察・昼食後解散の予定です。

内容・場所の「いわき」ならではの案などご意見あれば事務局または世話人へお知らせください。また今後予定に組み込んで頂き、多くの方が参加いただけますようお願いいたします。

- ◆開催日時 令和3年10月9日(土) 13:30 開始 ~ 翌10日(日) 13:00 頃解散
会報とともにチラシを同封していますので、詳細はチラシをご覧ください。

※7月下旬頃よりいわき市でコロナ感染者が急増したことを受けて「まん延防止等重点措置区域」に指定され、その後郡山市、福島市も指定されています。そのため、このまま10月に開催できるか検討中で、9月中旬には結論を出す予定です。またお知らせしますので、ご注視ください。

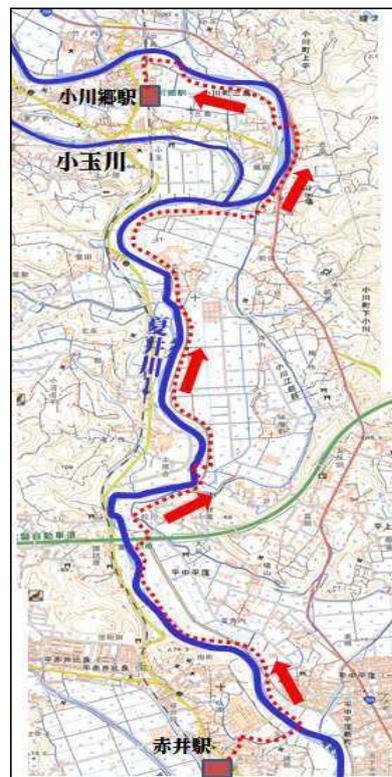
<行事案内>②第3回夏井川ウォーキング

夏井川の水の目線になって水源～河口を目指して、カヌーやボートで「夏ちゃんボール」追いながら、水源に近い田村市滝根中学校から河口を目指し、川の流れの目線で夏井川を「川下り」をしてきました。

ほぼ目標を達成したことから、令和元年度からは、河口を出発点として、夏井川堤防からの目線で、水源を目指そうと堤防沿いにウォーキングを開始しました。第1回目は、河口から堤防沿いの景観や下水処理場の見学等を楽しみながら鎌田河川公園まで歩きました。第2回目は、鎌田河川公園から夏井川左岸沿いに赤井駅まで歩き、途中、東日本台風で被災した堤防現場等を視察しました。

今回は、赤井駅を出発点とし、小川郷駅までの約8kmを歩こうと企画しました。未だ詳細は決めていませんが、概要は、下記のとおりです。

- 日時：令和3年10月31日(日) 10時～
- コース：赤井駅～夏井川左岸沿い～夏井川右岸～小川郷駅



→詳細が決まりましたら、後日、メールやハガキ等でお知らせします。

<報告> 夏井川流域治水協議会の発足について

橋本孝一

2019年10月の東日本台風による洪水被害を踏まえ、2021年4月に標記の協議会が発足しました。「夏井川流域治水協議会」の設立趣旨には、「今般設置する協議会は、近年頻発している激甚な水害や気候変動による今後の降雨量の増大と水害の激甚化・頻発化に備え、集水域から氾濫域にわたる流域全体のあらゆる関係者が協働して、流域全体で水害を軽減させる治水対策、「流域治水」を計画的に推進するためのものである。このため、協議会においては、河川整備計画に基づく河川整備、水災害対策協議会の取組方針に基づく避難や水防等の取組を十分共有するとともに、被害の防止・軽減に資する流域における対策を総合的に検討の上、密接な連携体制を構築するための協議等を行なうこととする。」と謳っています。協議会の下には幹事会が置かれ、事務局は、「いわき建設事務所企画調整課及びいわき市河川課に置く」としています。

協議会の構成員としては、いわき市長の他関係8部局の部長、田村市長、小野町長、福島県いわき地域では3部局（いわき地方振興局、建設事務所、農林事務所）、県中から3部局（県中地方振興局、農林事務所、建設事務所）及びオブザーバーとして県危機管理部、農林水産部、土木部の他、国土交通省東北地方整備局、気象庁、林野庁で構成されています。

◆規約の第4条（協議会の構成）及び第5条（幹事会の構成）の中で、「必要に応じて外部からの参加を求めることができる。」となっており、第2回協議会（令和3年7月2日、WEB会議）から、3団体（いわき商工会議所、夏井川水系河川改良促進期成同盟会、夏井川流域住民による川づくり連絡会）に出席要請があり、意見表明する機会がありました。当会を代表して、橋本孝一代表世話人が出席し、「①本協議会は、進捗状況に対する情報共有等のためにも、今後とも継続的に開催して欲しい。②河道整備後の維持管理に向けて、流域住民の参加を保障するような体制の構築等」について提案しました。



流域治水概念図（国交省HPより）

◆今後も継続的に協議会が持たれるものと思います。皆さんのお考え、提案等、事務局にお寄せ下さい。

<募集案内> 20年史の記事・資料・写真

現在、皆様よりいただきました記事を取りまとめ中です。9月中旬まで受付可能ですので、まだ未提出の方、事務局・世話人へご一報ください。

夏井川に係わる風俗や歴史の変遷、古い写真、皆さんの思い・意見など何でも構いませんので、当会世話人に是非お知らせ下さい。

※昨年、「大成建設自然・歴史環境基金」の助成金給付に当選し、20年史の印刷費を賄う目途がつかしました。これまで期日が延び延びとなっていました。今年12月製本完成を最終と

してまとめています。

●投稿要領

- ①記事は「写真等込みで、A4サイズで数行～1頁以内を目安」に御寄稿下さい。長くなる場合は、事務局で編集させていただく場合があります。
- ②原稿の書式は、紙媒体の場合：事務局へ郵送、電子媒体の場合：事務局宛へメールでお送りください。
- ③投稿の際には、氏名、連絡先をお知らせ下さい。
【事務局の所在等は当会報巻末を参照ください】

<事務局よりお願いなど>

■資材置き場等に係わる情報提供のお願い

当会の活動に係わる資材として水質検査用ポリタンク、ゴムボート、ボート船外機、アクアボール、水生生物採捕用網、大型展示パネル、その他備品など結構かさばる物が多く、橋本代表、事務局、他会員それぞれ個人で保管しています。

そこで、どこかに集約した資材置き場がほしいと考えています。理想としては、併せて会の拠点となる場として日頃立ち寄りできる場、さらには「夏井川資料館」となるような場所としての確保を目指したいところです。

つきましては、できれば夏井川からさほど遠くない場所に、空き倉庫、空き地、空き家など低料金で利用可能な情報があれば、事務局または世話人へ是非お知らせ下さい。

■世話人会に参加してみませんか

当会は毎月第1火曜日に「世話人会（18：30～）」を開催し、事業の反省や今後の在り方など、いろいろな話し合いを行っています。会議時間は1時間程度で、誰でも参加できますので、是非ご参加ください。

会場は主にいわき市文化センター（いわき市平堂根町1-4）ですが、開催日も含めて変更となる場合がありますので、世話人または事務局へご確認下さい。

【9月世話人会は、公共施設使用不可のため第2週の9/14（火）となる予定ですが、コロナ禍の影響で再度変更となる可能性があります】

～～～ 会員の皆様からのご意見・御寄稿をお待ちしております ～～～
(行事予定は下記ホームページでも案内しています)

【会報 第54号】 2021.8.30

発行：夏井川流域住民による川づくり連絡会（略称：夏井川流域NW）
代表世話人：橋本孝一
事務局：〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171地質内
田中博文 Tel)0246-88-8810 Fax)0246-88-8907
ホームページ：<http://blog.natsugawa-karyu.net/> 夏井川流域で検索



令和3年度

水から

福島県水環境活動 団体交流会

◆日時：令和3年10月9日（土）～10日（日）

◆場所：いわき市平



10月9日（土）交流会・懇親会 いわき市文化センター

13:30 交流会開会式・来賓挨拶

13:40～14:40（60分）

川の授業①「都市河川「新川」の社会的役割とその変遷」講師 いわき地域学会幹事 小宅幸一 氏

10分休憩

14:50～15:30（40分）

川の授業②「災害復旧状況について」講師 福島県いわき建設事務所

10分休憩

15:40～16:40 事例・近況発表 4団体×15分

16:40～17:00 総括・意見交換

17:00 交流会閉会 ※パネル・資料展示は、終日ロビーで実施。

18:00～20:00 **懇親会** いわきワシントンホテル椿山荘（文化センターから徒歩7分）

10月10日（日）現地視察

8:45～12:00 夏井川災害復旧現場を中心に視察

13:00 昼食後、解散

主催＝福島県水環境活動団体交流会 共催＝福島県
後援（予定）＝いわき市 福島民報社 福島民友新聞社

令和3年度福島県水環境活動団体交流会（略称「さらさら」）参加募集

平成15年10月に、福島県内で水環境に関する活動を実施している団体や個人、河川愛護団体が緩やかに連携するネットワークが結成されました。

交流会の参加者からは、「日頃考えていることや悩んでいることを意見交換したり、様々なテーマでの講演を聴くような活動にしたい。」との意見があり、平成16年度より毎年度県内各地で交流会を開催してきました。

平成23年3月11日の東日本震災による原子力発電所の事故に伴う放射能の問題で活動に大きな支障が出る状況となりましたが、会員から、「このような時だからこそ、県内の水環境を学びながら、さまざまな問題を話し合いたい。」との意見が出され、平成24年度より再開しました。

今年度は、これまで通りの時期・内容でいわき市を会場として開催することになりました。このような時勢だからこそ、（マスク越しに）熱く語り合いませんか。是非、多くの方のご参加をお願いします。

参加費・申込みについて

【1日目】 10/9（土）

- 交流会 13:30～17:00（いわき市文化センター） 交流会参加費 無料
- 懇親会 18:00～20:00（いわきワシントンホテル椿山荘） 懇親会参加費 6,000円（予定）
 宿泊（平のホテルを予定）も希望される方……………宿泊費（朝食付）6,000円（予定）

【2日目】 10/10（日）

- 現地視察 8:30～12:00（夏井川を主として） 現地視察参加費 無料
 昼食 12:00～13:00頃 昼食費 1,000円（予定）

* 申し込み期日 9月14日(火)

（交流会のみの参加は当日会場にて直接受付可）（全行程の参加費13,000円）（予定）

* 申し込み・連絡先

- ◆福島県水環境活動団体交流会事務局 長谷川 潔（090-1499-0727）〒963-8006 郡山市赤木町4-5
 FAX=024(934)7011 E-mail=hasekawa45@fb3.so-net.ne.jp
- ◆夏井川流域の会事務局 田中 博文（090-2797-7856）〒972-8311 いわき市常磐水野谷町亀ノ尾171 地質内
 FAX=0246(88)8907 E-mail=tanaka@tisitu.co.jp

* 駐車場 交流会のみ参加：文化センター 懇親会・宿泊：市役所 現地視察のバス移動の際に市役所へ寄ります。
 ホテルにも駐車できますが台数少ないため、参加者個別にご案内します。

申込用紙

令和3年度福島県水環境活動団体交流会に 団体 ・ 個人 で参加を申し込みます。

申込者氏名：		住所(市町村)：	
電話番号：		所属団体名：	
参加人数	◆交流会 _____ 名	交流会発表15分	発表 希望する 希望しない
	◆懇親会 _____ 名		発表題名
	◆宿泊 _____ 名(うち女性) _____ 名		_____
	◆現地視察 _____ 名		その他意見等
	◆2日目昼食 _____ 名		_____